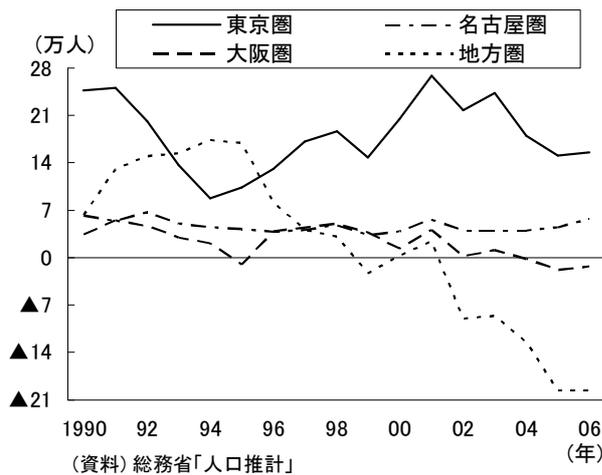


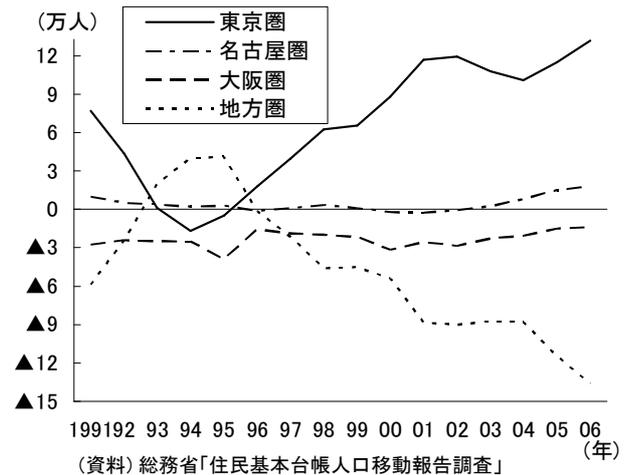
## 新政権の課題

- (1) 福田政権が発足。地方格差がとりわけ重要な政治課題に。地域経済・社会の疲弊は一段と深刻化。地方では、総じて雇用情勢が低迷するなか、人口流出が加速（図表1、2）。
- (2) しかし、問題は地方にとどまらず。今後、東京など都市圏でも、生産年齢人口を中心に、人口減少問題が急速に浮上する公算大（図表3）。
- (3) 近年のわが国景気回復は、東京など都市圏経済がメイン・エンジン。今後、都市圏人口、とりわけ生産年齢人口が減少に転じると、牽引役が不在となり、経済低迷に陥るリスク大。
- (4) さらにわが国人口が少子化ではなく、高成長の海外への流出傾向が強まった結果、2005年と、従来の人口推計予測を上回る早い時期から減少に転じた点を加味すれば、経済停滞が人口減少を増幅させる懸念も（図表4）。
- (5) かつて中央集権の雄であったフランスは、石油危機後の深刻な経済停滞に直面するなか、地方分権に転換して経済再生に成功。中央集権では地域の強みを生かし切れないから。一方、バラマキ政策では問題の本質的解決にならず。真の改革断行こそ新政権の最重要課題。

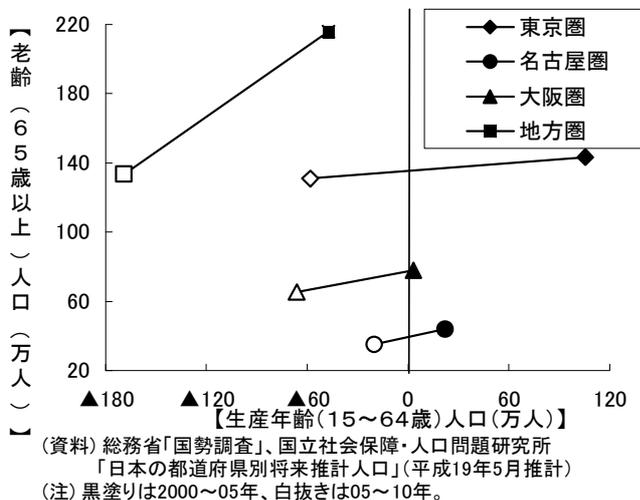
（図表1）わが国地域別人口の推移  
（前年差）



（図表2）わが国地域別転入超過数の推移  
（転入者数－転出者数、前年差）



（図表3）生産年齢・高齢人口の地域別推移  
（増減数）



（図表4）日本人人口の要因別推移  
（前年差）

